

第4章 町職員向け調査の結果

(1) 大山崎町における暮らし全般（現在のこと）について

問1 大山崎町のまちの暮らしやすさ

あなたは、自分の知人や友人に対して、大山崎町はどの程度よいまちだと推薦できますか。

(1) 全般的に住みよいまちとして

肯定的評価（「とてもよい」＋「よい」の計）が55.8%、中間評価（「まあまあ」）が36.7%、否定的評価（「よくない」）が5.0%となっています。

(2) 子どもを育てるまちとして

肯定的評価（「とてもよい」＋「よい」の計）が73.3%、中間評価（「まあまあ」）が21.7%、否定的評価（「よくない」）が2.5%となっています。

(3) 仕事・商売をするまちとして

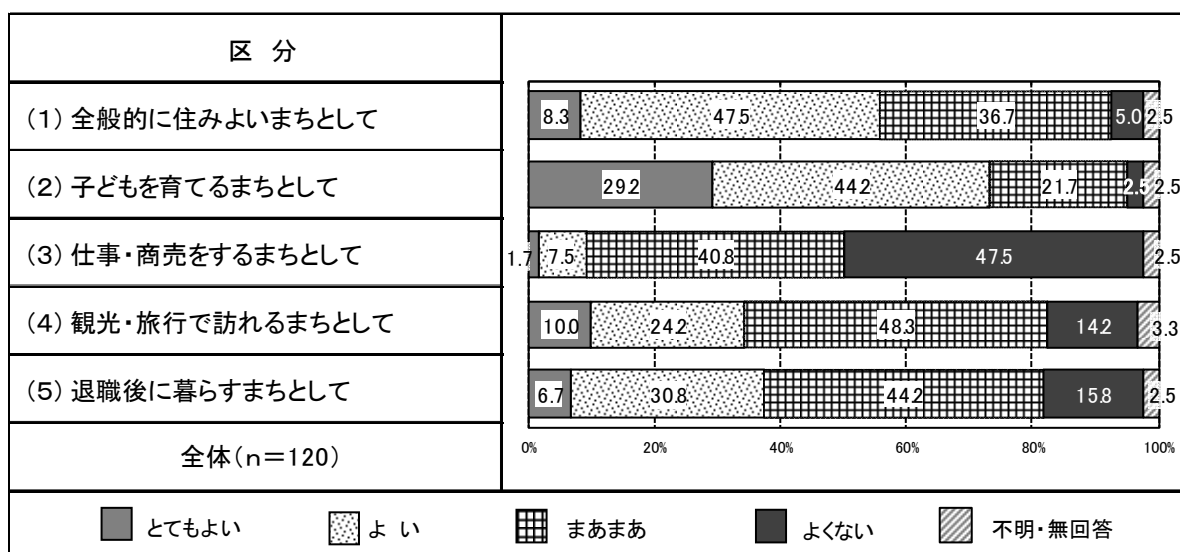
否定的評価（「よくない」）が47.5%、中間評価（「まあまあ」）が40.8%、肯定的評価（「とてもよい」＋「よい」の計）が9.2%となっています。

(4) 観光・旅行で訪れるまちとして

中間評価（「まあまあ」）が48.3%、肯定的評価（「とてもよい」＋「よい」の計）が34.2%、否定的評価（「よくない」）が14.2%となっています。

(5) 退職後に暮らすまちとして

中間評価（「まあまあ」）が44.2%、肯定的評価（「とてもよい」＋「よい」の計）が37.5%、否定的評価（「よくない」）が15.8%となっています。



問2 大山崎町の「よいところ」と「改善すべきところ」(自由記述)

大山崎町のまちのよいところ(魅力・強み・生かすべき点等)であると思うことは何ですか。また、改善すべきところ(弱み・直すべき点等)であると思うことは何ですか。回答欄に、文章やキーワードなどを自由にお書きください。

【大山崎町のよいところ(魅力・強み・生かすべき点等): キーワード分類】

計104件の自由記述回答から、キーワードを抽出し分類した結果、「自然豊か」という意見が最も多く、次いで「交通の便が良い」、「天王山」と続いており、「神社仏閣・文化遺産が多い」「歴史のまち」「淀川」「桂川」など、自然・歴史をよいところと考える人が多い状況です。

なお、回答をいただいた具体的な意見は、資料編P84～P87に掲載しています。

	内容	件数	回答率(%)
1	自然豊か	70	67.3
2	交通の便が良い	52	50.0
3	天王山	29	27.9
4	子育てがしやすい	23	22.1
5	神社仏閣・文化遺産が多い	17	16.3
6	歴史のまち	15	14.4
7	コンパクト、こじんまり	13	12.5
8	行政が行き届いている	8	7.7
9	静か、のどか	6	5.8
10	住民・地域同士のつながりが良い	6	5.8
11	淀川	4	3.8
12	桂川	2	1.9
	全体(回答者)	104	100.0

【大山崎町の改善すべきところ（弱み・直すべき点等）：キーワード分類】（自由記述）

計 101 件の自由記述回答から、キーワードを抽出し分類すると、「商業施設が少なく、買物が不便」が最も多く、次いで「道が狭い」、「町内の交通の便が悪い」と続いています。よいところで2番目に「交通の便が良い」となっていますが、具体的な内容をみるとJRや阪急、高速道路といった交通の便をよいと答えた人が多く、改善すべき点での“道”や“交通”は主に町内の移動という面での回答が多い状況です。

なお、回答をいただいた具体的な意見は、資料編 P87～P90 に掲載しています。

	内容	件数	回答率(%)
1	商業施設が少なく、買物が不便	33	32.7
2	道が狭い	26	25.7
3	町内の交通の便が悪い	20	19.8
4	観光に力を入れる	15	14.9
5	土地の高低差	10	9.9
6	アピールが少ない	10	9.9
7	インフラ管理・財政難	9	8.9
8	病院が少ない	8	7.9
9	水道代が高い	6	5.9
10	公共施設対策	5	5.0
11	都市計画(道路・河川他)	5	5.0
12	バスが少ない	4	4.0
	全体(回答者)	101	100.0

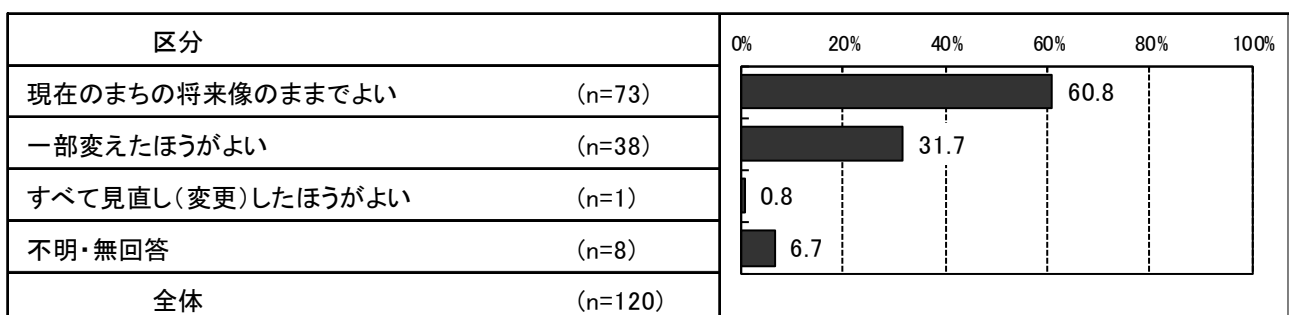
(2) 大山崎町におけるまち全般の将来（これからのこと）

問3 大山崎町のまちの将来像

大山崎町の現在の総合計画では、「まちの将来像」として「天王山・淀川 歴史と文化 うるおいのあるまち おおやまざき」を掲げています。

このまちの将来像について、今後、更に10年以上先（平成37年）を見据えた将来像として、あなたはどのように思いますか。自分の考えにもっとも近い番号に○印をつけてください。

「現在のまちの将来像のままよい」が60.8%、「一部変えたほうがよい」が31.7%となっています。



問3-1 「一部変えたほうがよい」または「すべて見直し（変更）したほうがよい」とお答えの方で、これからの10年後（平成37年）の「まちの将来像」に関して、考慮すべき点やキーワード、考え方等があれば、自由にお書きください。（例えば、10年後のあるべき姿や、これからのまちづくりで重視・大切にすべきこと等について）（自由記述）

自由記述式回答に37人の方から回答がありました。その内容を分類すると、今後高齢化が進むことによる「少子高齢化を見据えた施策展開」に関する意見が11件で最も多く、次いで自然との共生や本町の資源である天王山や淀川といった「自然（天王山、淀川、共生、保全など）」に関する意見が5件と続き、そのほか「子育てにいいまち」、「歴史（知名度の上昇、歴史資源のアピールなど）」、「インフラの整備（インターができた、道路が狭いなど）」、「福祉の充実（弱者への配慮）」があがっています。

なお、回答をいただいた具体的な意見は、資料編P91～P93に掲載しています。

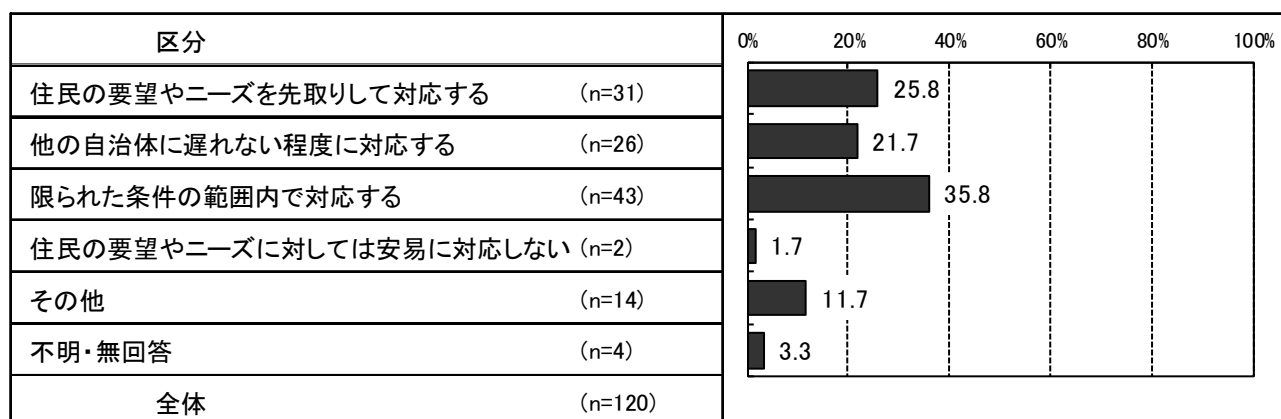
意見分類	件数
少子高齢化を見据えた施策展開	11
自然(天王山、淀川、共生、保全など)	5
子育てにいいまち	4
歴史(知名度の上昇、歴史資源のアピールなど)	4
インフラの整備(インターができた、道路が狭いなど)	4
福祉の充実(弱者への配慮)	4
人の入ってくるまち(観光)	3
住民参画	3
合併して規模を大きく	2
小さいまち	1
住宅開発	1
大山崎らしさを表現	1
外部から見てもらえるように	1
住民、職員が共有できるメッセージ	1
都市計画税の導入	1
実現可能な目標設定	1
円明寺団地の老朽化	1
住みたい町、住み続けたい町	1
心豊かに暮らせるまちづくり	1
町並みの保全	1
災害が発生しても屈しない	1
防災	1
安全、安心	1

(3) これからのまちづくりにおける、行政や自分のあり方について

問4 これからの時代の行政サービス

あなたは、これからの時代に町が提供する行政サービスをどのようにすべきだと思いますか。

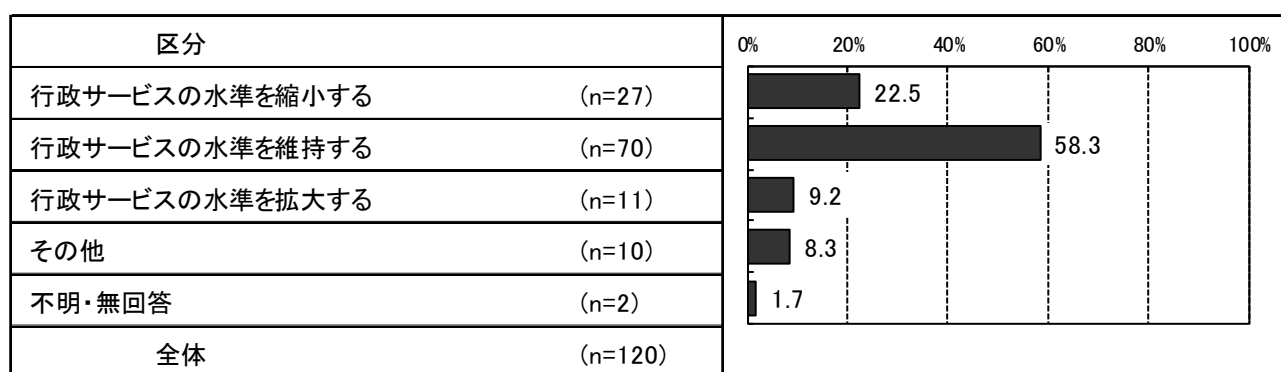
「限られた条件の範囲内で対応する」が35.8%で最も多く、「住民の要望やニーズを先取りして対応する」(25.8%)、「他の自治体に遅れない程度に対応する」(21.7%)がつづいています。



問5 行政サービスのあり方と住民の負担

今後、さらなる進行が予測される人口減少社会においては、町財政等の縮小を余儀なくされることが見込まれますが、これからの行政サービスのあり方について、あなたの考えは。

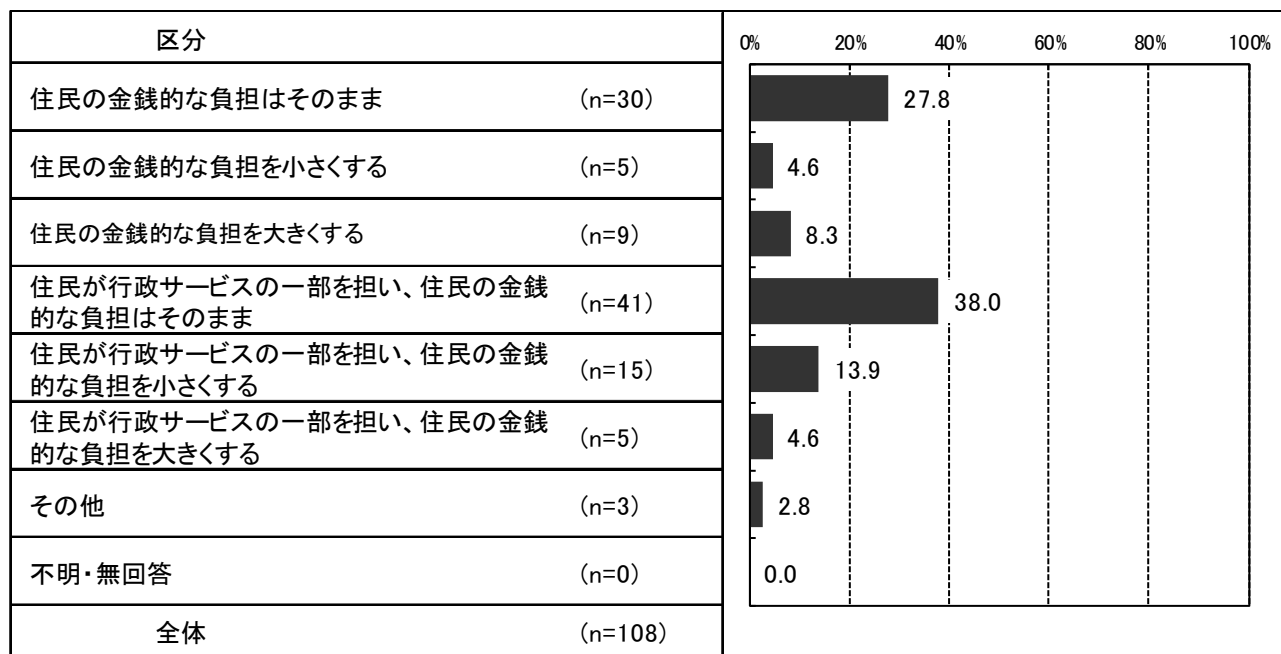
「行政サービスの水準を維持する」が58.3%で最も多く、「行政サービスの水準を縮小する」(22.5%)、「行政サービスの水準を拡大する」(9.2%)がつづいています。



問5-1 問5で「行政サービスの水準を縮小する」「行政サービスの水準を維持する」「行政サービスの水準を拡大する」のいずれかに○をされた方にお聞きします。

その場合の負担のあり方について、あなたの考えは。

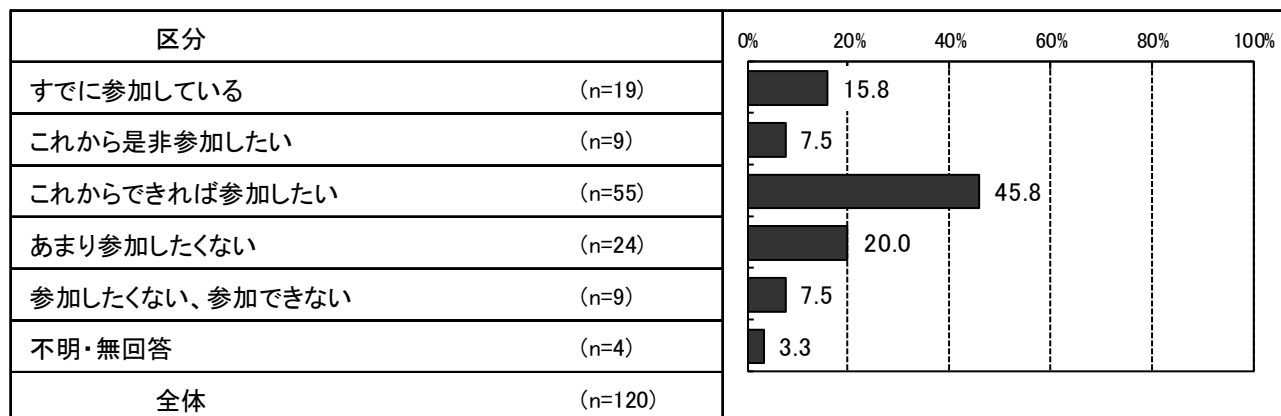
「住民が行政サービスの一部を担い、住民の金銭的な負担はそのまま」が38.0%で最も多く、「住民の金銭的な負担はそのまま」(27.8%)、「住民が行政サービスの一部を担い、住民の金銭的な負担を小さくする」(13.9%)がつづいています。



問6 自分自身の地域づくりへの参加意向

あなたは、一人の住民として、自分が住んでいる地域のボランティア活動や地域社会活動などの地域づくりに参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

「これからできれば参加したい」が45.8%で最も多く、「あまり参加したくない」(20.0%)、「すでに参加している」(15.8%)がつづいています。

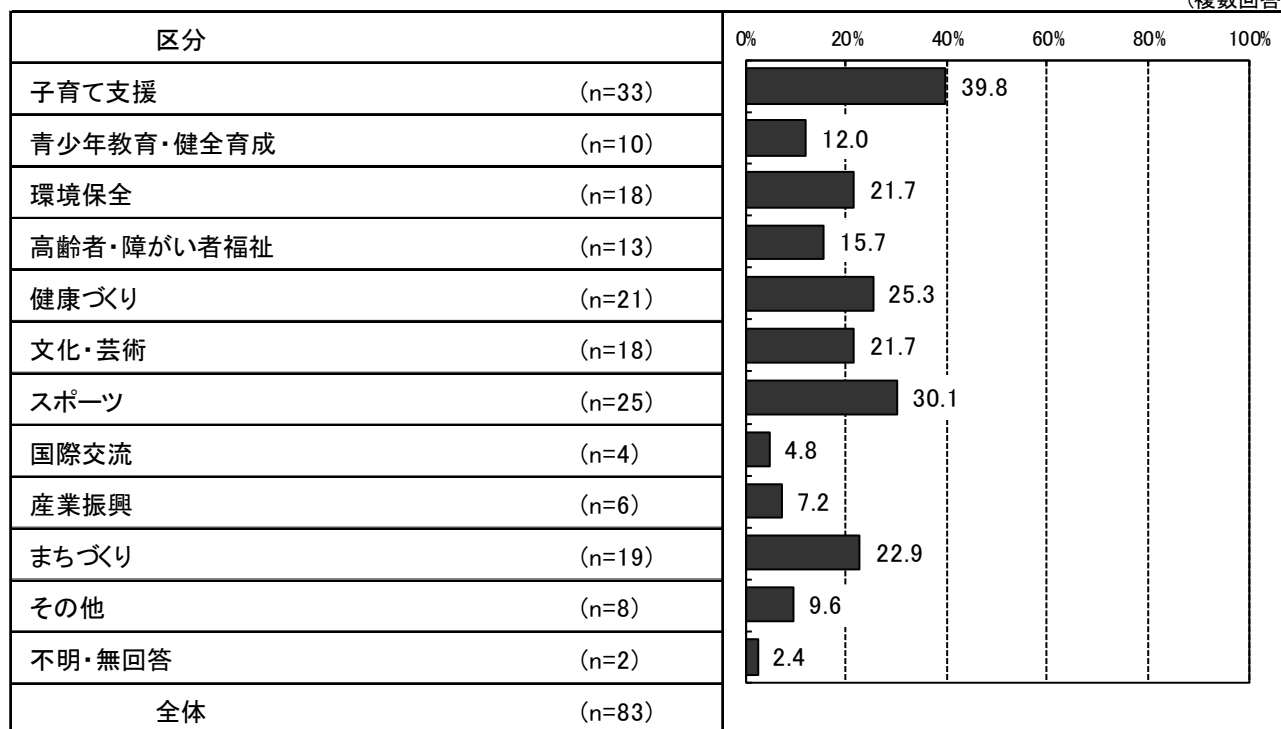


問6-1 問6で「すでに参加している」「これから是非参加したい」「これからできれば参加したい」のいずれかに○をされた方にお聞きします。

どのような分野の活動に参加したいと思いますか。(○はいくつでも)

「子育て支援」が39.8%で最も多く、「スポーツ」(30.1%)、「健康づくり」(25.3%)がつづいています。

(複数回答)



(4) 個別分野（現状と将来）について

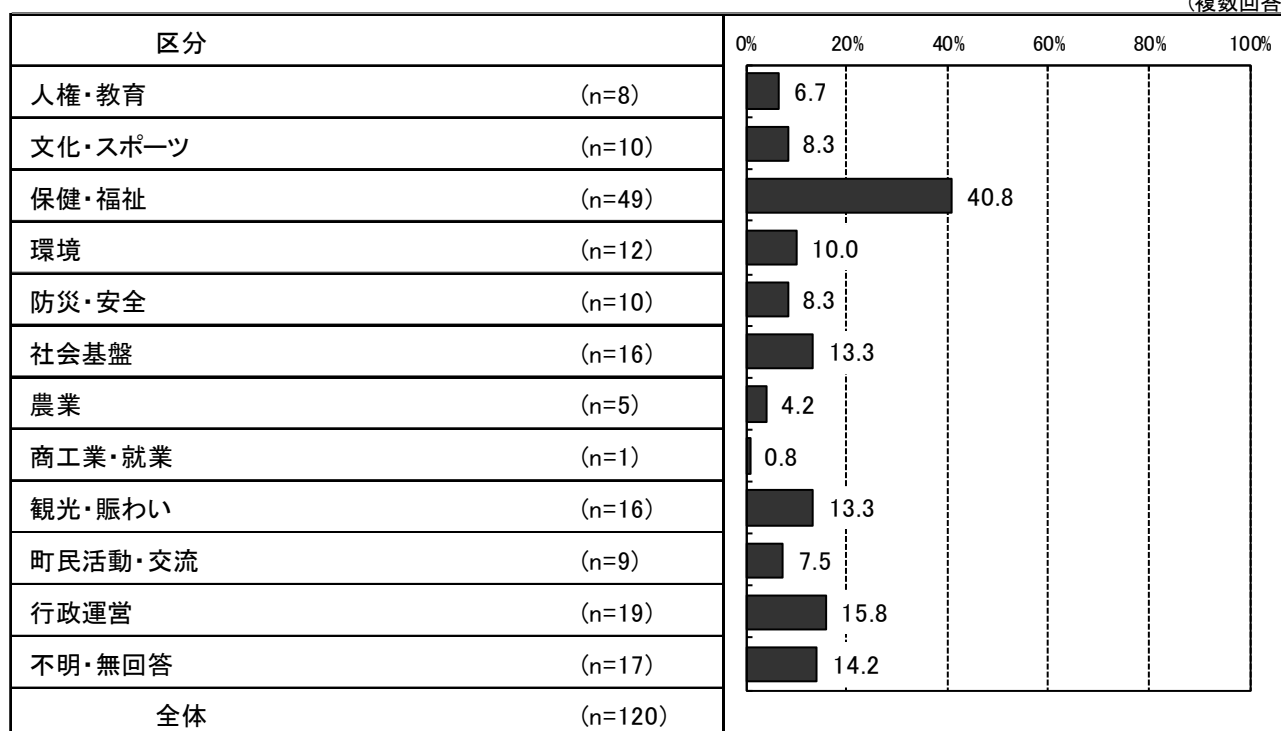
問7 個別の分野についての現状分析と将来分析（自由記述）

問7は、11分野から1分野以上3分野まで選択して、当該分野についての現状分析と将来分析に関して、自由記述式で回答していただきました。

なお、回答としては「保健・福祉」が49件(40.8%)で最も多く、次いで「行政運営」が19件(15.8%)、「社会基盤」と「観光・賑わい」がともに16件(13.3%)と続いています。

なお、回答をいただいた具体的な意見は、資料編P94～P119に掲載しています。

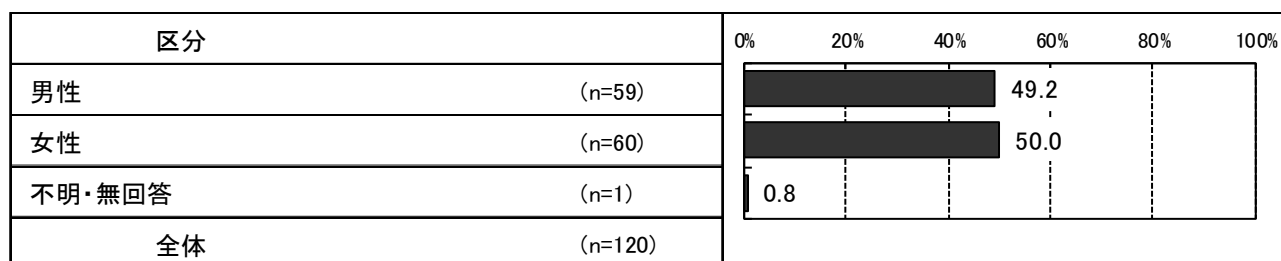
(複数回答)



(5) 回答者自身のこと

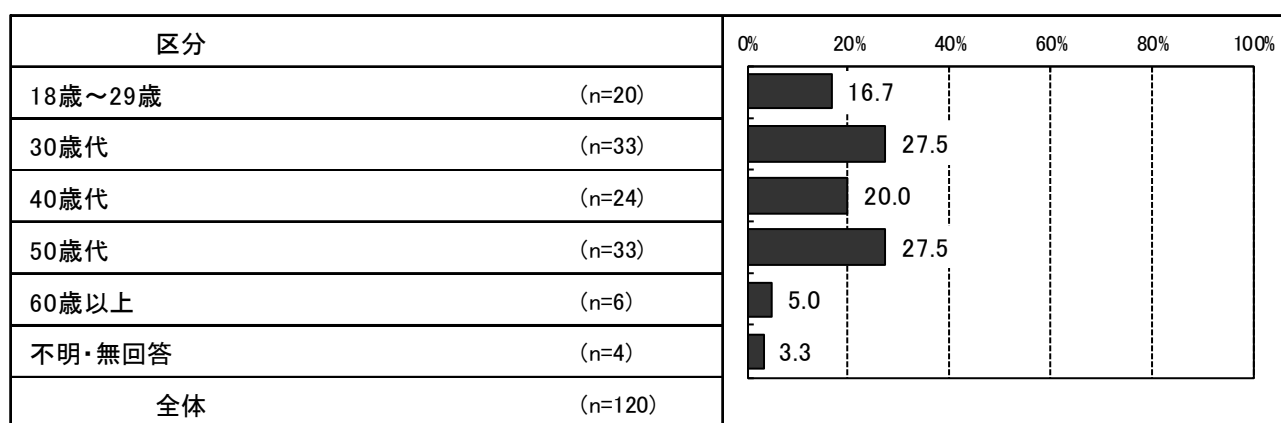
問8 性別

「女性」が50.0%、「男性」が49.2%となっています。



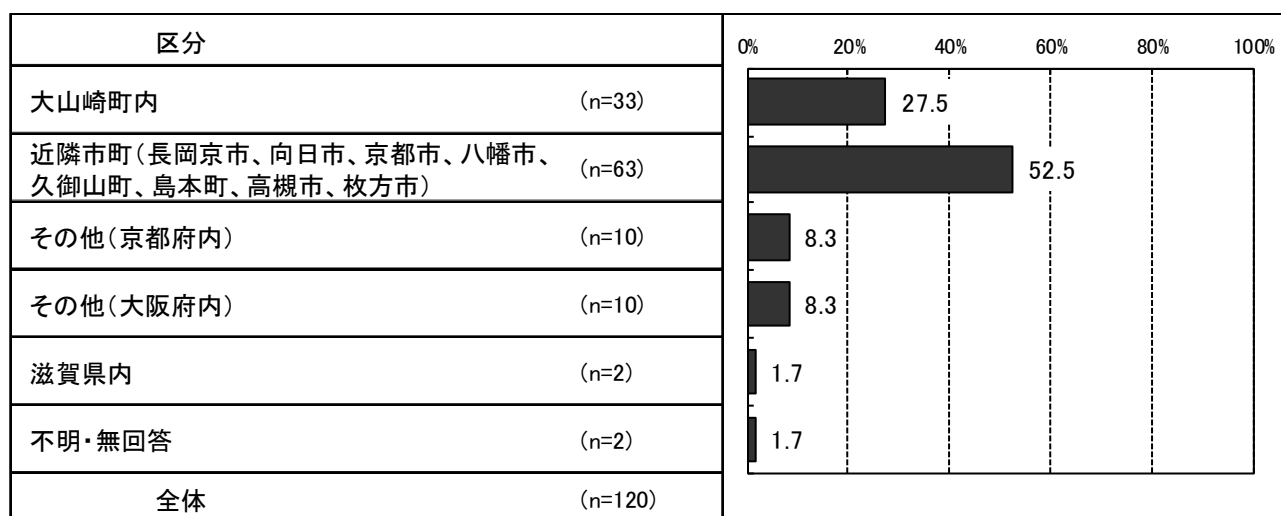
問9 年齢

「30歳代」と「50歳代」が、ともに27.5%で最も多く、「40歳代」(20.0%)、「18歳～29歳」(16.7%)がつづいています。



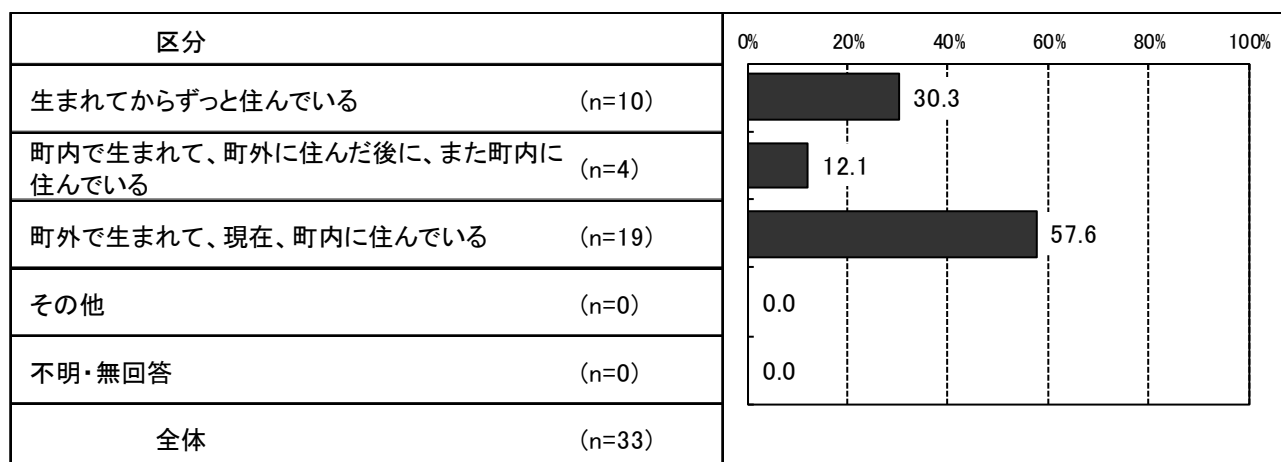
問10 居住地

「近隣市町(長岡京市、向日市、京都市、八幡市、久御山町、島本町、高槻市、枚方市)」が52.5%で最も多く、「大山崎町内」(27.5%)、「その他(京都府内)」 「その他(大阪府内)」(8.3%)がつづいています。



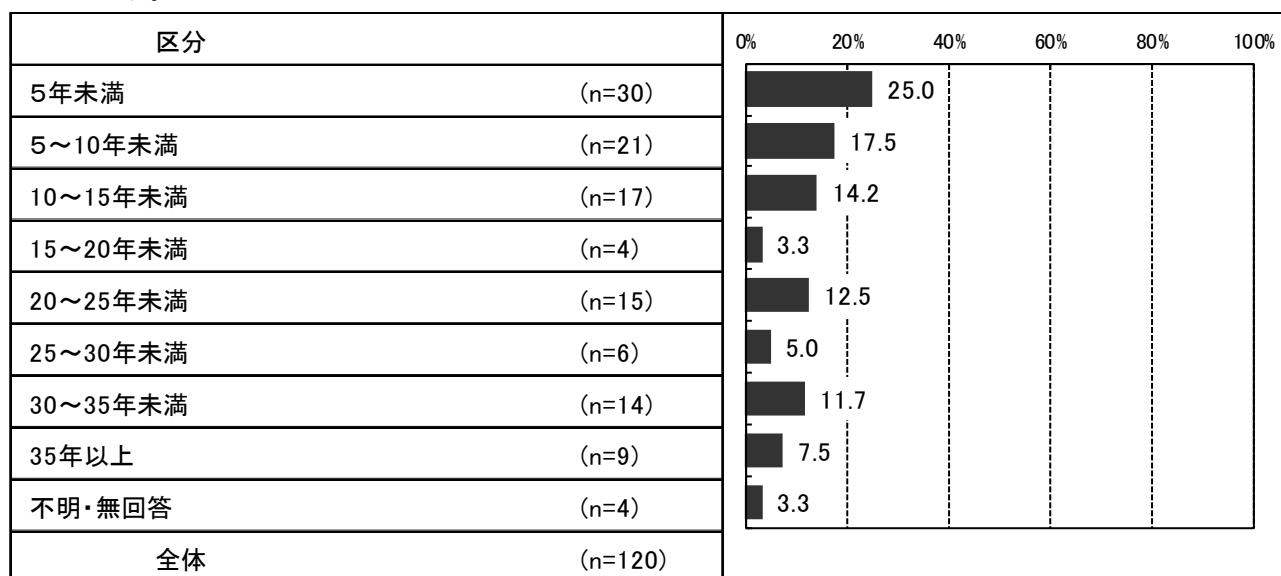
問10-1 大山崎町での居住歴（問10で「大山崎町内」と答えた方のみ）

「町外で生まれて、現在、町内に住んでいる」が57.6%で最も多く、「生まれてからずっと住んでいる」(30.3%)、「町内で生まれて、町外に住んだ後に、また町内に住んでいる」(12.1%)がつづいています。



問11 大山崎町役場での通算職員年数

「5年未満」が25.0%で最も多く、「5～10年未満」(17.5%)、「10～15年未満」(14.2%)がつづいています。



問12 これまでの総合計画の利用について

総合計画について、「内容は見たことがある（パラパラと見たことがある程度）」が35.8%で最も多く、「たまに利用した（時々、年に数回、必要などきに見た）」(27.5%)、「あることは知っている（内容はよく知らない）」(22.5%)がつづいています。

